

# 令和4年度 地域でつながる家庭教育応援事業 第2回地域家庭教育推進県北ブロック会議

日時：令和5年1月19日（木） 14：00～16：00

場所：自由民主福島会館

参加者：構成員12名 事務局等8名



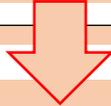
## I 今年度の取組について

### (1) 第1回家庭教育推進県北ブロック会議

- 本ブロック会議構成員の蓬田様による子どもたちの現状についての情報提供
- スマホ依存度チェック
- 協議→子どものネット依存だけでなく、大人のネット依存も問題！！



今年度の重点・・・**ネット依存**



### (2) 親子の学び応援講座

#### 川俣地区

#### 伊達中学校

講演「子どもたちをネット依存から守るための親の役割」



実体験を基にした依存の実態に関する講演

- 依存は身近な問題である。
- 依存にならないためには身近な人、特に家族の影響が大きい。

講演「ネットメディアの利用における現状と影響」



ネットトラブルについて全校生徒と保護者が一緒に考える講演

- 親子で一緒にスマホのルールを考え、子どもだけでなく、親も一緒にルールを守って使うことが大切である。

### (3) 家庭教育支援者地区別研修会

講演 「コロナ禍で急増！インターネット依存！」

演習 「ネット依存における家庭でのコミュニケーション」



- 7人に1人の中高生が病的なネット依存が疑われる状況である。
- ゲーム障害・ネット依存は増加傾向にある。
- 「ポジティブなコミュニケーション」をとることが大切である。

子どもたちのインターネット利用の現状や依存症について講演をしていただき、家族から子どもへの言葉かけの仕方について、具体的な場面を想定し演習を行った。



### (4) 家庭教育応援企業推進活動

- ① 定期的に「家庭教育応援企業通信」を発行し、新規登録企業の紹介、応援企業の取組事例の紹介、家庭教育情報など、各企業や学校に送付するとともに、ホームページに掲載している。
- ② 従業員が公私ともに充実した生活を送れるようにするとともに、子育て真っ只中の従業員が家庭教育について学ぶ機会をもちたいという企業のニーズに応え「企業内学習会」を開催した。
- ③ 家庭教育応援企業の企業情報提供についてのお願いをし、各地区ごとにまとめたものを各学校に配付する予定である。

## 2 今年度の取組結果をもとにしたグループ協議

今年度の取組を振り返るとともに、来年度にさらに取り組むべきことを協議しました。



依存症の手前にいる  
子ども(親)への対応

家庭教育への支援ができるよう、教員や警察、地域の方のスキルアップができる場(講演会)を設けるとよい。



連P事務局に協力してもらったり、企業と連携したりする等、広報の仕方を工夫し、実践につなげていきたい。

親子での研修会の充実

親子で一緒に使い方を振り返り、ルールを決める場をつくることができるとよい。

研修内容や成果を  
保護者や企業に広める工夫

## 3 来年度の見通しについての協議

来年度は、令和5年度版リーフレット作成を目指して取り組んでいきます。  
皆様からいただいた意見を御紹介いたします。

- with SNS (ネット) という視点で作成する。
- ゲーム依存についても載せる。
- ネットの危険性を訴える。
- 相談窓口や受け入れ先(病院)の情報も載せる。
- スマホ依存度チェックを載せる。
- トラブルだけでなく良い面も載せる。
- 具体的な言葉のかけ方を載せる。
- 家庭教育手帳のQRコードを載せる。



インターネット・携帯電話の普及をはじめ、経済・社会・生活のあらゆる場面で情報化が進展し、私たちはその恩恵をたくさん受けています。一方で、有害情報や「ネット上のいじめ」など情報化の影の部分への対応は喫緊の課題です。

時代に合った「メディアコントロールの在り方」を追求し、より良い提案ができるよう努めて参ります。

